

發信用		執務用	
主信			
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考			

縣 集

昭 和 拾 八 年 七 月 廿 二 日 發 送 済

A-I-12

公 信 案	件 名	先 付 送 寫	名 人 信 受	主 管	文 書 課 發 送 日
	以申越ノ表記条約一部別添送付ス		岩手縣盛岡市仁王路三三 昭和文庫圖書館	在敵國居留民 關係事務室	昭和拾八年七月廿二日發送済
	(別添其儘添付ス)			普通 第三六一號	
外 務 省		名 件 録 記	名 人 信 發	主 任	淨 書
			在敵國居留民 關係事務室	昭和十八年十一月廿二日	正 校 (原 稿)
			附 本 使	附 局	(淨 書)
					記 帳

附屬物同封

406 22 6

B 1.7.0.0-22

REEL No. A-1090

0323

アジア歴史資料センター

岩手縣盛岡市仁王小路三三

昭和文庫圖書館

奉寄書

に奉

お返し

ついでに

佐藤 待過

九月十九日 七月 終め

右御出刊の由斯學界の爲め慶賀至極と奉存候

就ては甚だ勝手の申分に候へ共當地方文化促進の爲めの

參考資料に供し度右一部御惠送被下度願上候

尤も文化的參考に致し度希望にて防諜的關係全然無之候

1000

S 1.7.0.0-28

407

A-I-12 陸軍

共同研究

昭和十八年十一月三十日

鳥取縣岩美郡田後村

無明堂文庫



外務省
在散居島民關係事務室

侍史

一輪拜呈

陛下下花ノ候ト相成候處 貴堂益々御壯健ニテ御奮闘被遊居リ使由皇國ノ御爲大慶至極ニ奉存候
我が帝國ノ大東亞戰爭緒戦ニ於ケル赫々タル勝利ハ大東亞ニ於ケル米英勢力ヲ完全ニ撃破シ神武盛國ノ大國是ハ今ヤ着々吾人ノ眼前ニ實現セラレツ、在リ現ニ大東亞ハ道義國日本ヲ中樞トスル一大生命体トシテ世界ノ真只中ニ其ノ雄姿ヲ現ハシ來タレリ我々國民ハ之ノ偉大ナル戦果ヲ前ニシテ御氏我生けるしるしノ國民的感激ニ今更胸ノ戦クヲ禁ジ得ザルモノ有之候哉ニ戰爭勃發以來 御後進ノ下忠烈ナル皇軍將士ノ善戰勇闘ニ對シ衷心感謝ノ念ヲ新ニスルト共ニ外ニ於ケル輝シキ戰果ニ對シテモ國內体制整備強化ノ要殊ニ切ナルモノ在ルヲ痛感スル今コソ全國民ノ一入々々ガ深ク臣民道ニ徹シ各々其ノ分ニ生キ抜キ丹心赤誠ニ燃エツ、一休トナリテ之ノ大戦ニ勝チ抜キ速ニ神武盛國ノ大國是ヲ完了セザル可カラザルノ秋眞ニ國家ノ希求スルモノハ實實剛健ナル農漁村ニシテ實實剛健ナル農漁村ノ存在ガ國家興隆ノ根源ナルコトハ古今東西ノ鐵則ニ有之候然ルニ從來餘リ顧ラザリシ農漁村モ支那事變勃發以來民族政策ノ見地ヨリ其ノ重要性格見直サレリ至リ更ニ大東亞戰爭ニ因テ之ノ重要性ハ一層高マリタリ即チ我々農漁村ハ強兵ノ培養地ナルノミナラズ更ニ健全ナル日本精神ノ涵養地トシテ大東亞共榮圈建設ノ中心タルハキ重要使命ヲ擔フニ至レリ之ノ使命ニ對應スルタメニハ農漁村ノ人口確保ヲ計ルト共ニ實實剛健ナル我國古來ノ醇風美俗ヲ保存スルノ方途ヲ講ズルコトノ必要デ在

ルハ云フヲ俟タザル處ニシテ今四ノ政府當局ノ新政策ノ皇國新農村ヲ確立シ兵農兩全ヲ完遂スルハ蓋シ時宜ヲ得タルモノト云フベシ雖然言ニガ確立ノ爲メニハ諸般ノ文化施設ヲ必要トスルモノニシテ從ツテ社會教育施設ガ論議サルベク就中日頃待望スル農漁村圖書館ハ農漁村ヲ明朗平和ニ爲スト共ニ深ク臣民道ニ徹シ實實剛健大政ヲ翼賛シ奉リ神武盛國ノ大國是具現ノ良キ協力者農漁村氏ヲ養成スルヨリ善キ施設ナリト愚考仕候然ル處當文庫ハ目下ノ處一私文庫ニ過ギザルモ明朗平和眞ニ國家ノ希求スル農漁村ノ建設ヲ念願トスルモノニシテ之ガ一助タラシムルタメ内容整備充實ニ全力ヲ傾注致シ居リ内容整備充實ノ曉ハ國家ノ中堅タル青年學徒ニ開放シ一村文化ノ殿堂タラシムル計畫ニ有之候
陳者 貴堂ニ於カセラレ左記圖書印行被遊タル由奉ハリタル處右ハ國民精神總動員下ノ現今統後農漁村青年修養上誠ニ難得好資料ト存候
就而者統後農漁村青年修養ノ資ニ供度ニツキ甚ダ恐縮ノ至リニテ申上ゲ兼テ候得共右書一部御惠贈ノ榮ヲ賜ハルマジク候或奉懸願候
若シ之ヲ得バ種々研究上便宜ヲ蒙ル處莫ニ多大可成ニシテ青年指導上裨益甚大ナルヲ確信仕候
戰局ノ進展ニ伴ヒ國事益々多端ノ折柄ヲモ不願御依頼申上候段何卒御覽察ノ上初志達成ニ御協力賜ハリ庭先ハ乍略儀以寸楮御依頼迄此段得貴意度如斯御座候
謹言

記

一俸庸ノ待遇ニ關スル十九百三十九年七月三十一日條約

昭和 / 年 月 15 日

大連市長 別 宮



在敵國居留民()係事務所 殿

拜啓益々御清榮之段奉賀候陳者左記の御刊
行物は當市の研究資料として是非拜見致度
存候間寔に恐縮に御座候得共御惠贈賜度此

段御願申上候

敬 具

追而御送本の節は大連市役所調査室宛にて御發送相願度御依

頼申上候

記

一俤廣ノ御通ニ因 元十九百三十九年 七月二十七日ノ
條約

郭

S 1.7.0.0 -28

410

公 信 案

外 務 省

七月、條約別添、通シ御送付申候由貴市
ノ研究資料トシテ充分御利用相成度候
敬具

(修磨後通シ、同スル千九百三十九年ノ條約別添送付ノコト)

(日本標準規格 B5) 412 S 1.7.0.0-28

文書課長

文書課發送日 昭和拾九年參月廿七日發送済

正校(原稿) (淨書帳簿)

主 管 在敵國居留民關係事務室 昭和十九年三月三十一日起草

主 任 3

居 普通 第 半信 昭和十九年參月廿五日附 附屬アリ

受 信 人 大連市役所 調査室

發 信 人 在敵國居留民關係事務室

記 録 名 件 録 記 名 人 信 發

先付送寫 名 件

件 名 修磨後通シ、同スル千九百三十九年七月三十一日條約送付ノ件

件 名 拝啓陳者、七月十五日附貴翰、御申越、次第、又

件 名 諒承修磨後、待遇ニ關スル千九百三十九年七月三十一

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5) 411 S 1.7.0.0-28

拜啓陳者本月十五日附貴船ヲ以テ御申越ノ次第諒承伴虜ノ待遇ニ
關スル千九百二十九年七月二十七日ノ條約一部別添ノ通り御送付
申候間貴市ノ研究資料トシテ充分御利用相成度候 敬 具
昭和十九年三月二十五日

外務省在敵國居留民關係事務室

大連市役所調査室 御中

外務省

（日本標準規格B5）
S 1.7.0.0 -28

413

REEL No. A-1090

0329

アジア歴史資料センター

在敵國居留民關係事務室
第 號

昭和十九年六月六日

京都帝國大學法學部圖書室

昭和十九年六月拾貳日接受

記帳済

外務省在敵國居留民關係事務室中

拜啓前略陳者貴室御發刊ニ係ル左記之圖書本學部ニ於
テ學術研究之資料トシテ甚タ有益ナルモノト存ジ候間
誠ニ恐縮ニハ候得共餘部有之候ハ、御寄贈賜リ度此段
及御依頼候也

敬具

記

停務ノ待遇ニ關スル千九百二十九年七月二十七日ノ條約

送付ノ件

S 1.7.0.0-28

414

REEL No. A-1090

0330

アジア歴史資料センター

公	信	案
送付致候間、御利便相成度候 敬具 佐藤、待遇三箇月修約一部別添送付ノコト		

(日本標準規格 B5) S 1.7.0.0-28 416

主信 甲 乙 丙 丁 附 周 備考		文書課發送日 昭和拾九年六月拾五日發送済 文書課長	
先付送寫 名 人 信 受 京都帝國大學 法学部図書室		普通密 第半公係號 昭和拾九年六月拾五日 附屬 正校(原稿) (淨書) 附屬物同封	
名 件 (當室登刊佐藤、待遇三箇月修約、昭和十九年七月二十七日修約) 揮毫陳者六月六日附書翰、以多御申越、次第了候 佐藤、待遇三箇月修約、昭和十九年七月二十七日修約、別添		名 人 信 發 在敵國居留民 關係事務室 鈴木公使	

(日本標準規格 B5) S 1.7.0.0-28 415 15 7

寫

拜啓陳者六月六日附書翰ヲ以テ御申越ノ次第了承俘虜ノ待遇ニ關
スル千九百二十九年七月二十七日ノ條約一部別添送付致候間御査
收相成度候
敬具

昭和十九年六月十五日

外務省在歐國居留民關係事務室

京都帝國大學法學部圖書室 御中

附屬物同封

外務省

S 1.7.0.0-28

417

REEL No. A-1090

0332

アジア歴史資料センター

AI-7 COPY
MAX PESTALOZZI
Delegate
International Red Cross Committee

MP:AM

G.T. 1192 - 662

Ref. No. 206

NOTE TO THE JAPAN RED CROSS SOCIETY

RE RELIEF CARGO FOR JAPANESE INTERNED IN NEW ZEALAND

The Japan Delegation of the IRCC presents its compliments to the Japan Red Cross Society and begs to state that it has received a telegram from its Committee in Geneva, making reference to the New Zealand government's reply to the Japan Red Cross Society's telegram No. 2432 as exhibited to the Japan Red Cross Society in this Delegation's Note No. 17 of July 27, 1943. In the last caption of this Note the message from New Zealand states that Japanese translations of the 1929 Geneva Convention should be attached to the relief cargo sent to New Zealand.

In a telegram just received from Geneva the Committee inquires whether copies of the Convention of 1929 in Japanese have been despatched. The telegram further states that if nothing has been sent so far, a few copies each should be mailed to Geneva at regular intervals.

The Japan Delegation of the IRCC asks therefore the Japan Red Cross Society to kindly look into this matter and to send these translations to Geneva, if not already done so.

Tokyo, May 29, 1944.

S 1.7.0.0 -28

419